個人面接シートⅡ

［令和３年度白亜の会資料］

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 校種（中高共通等） |  | 教科 |  |
| 氏　名 |  | 受験希望地区 |  |

※東京都、神奈川県、横浜市等多くの自治体では事例問題として学校内外で起こる問題への対応が個人面接で問われます。そこで、例を参考にして下記の１～３の事例についてどのように対応するか述べてください。問答形式と場面指導があります。場面指導では指定された時間が与えられ実演による指導（模擬対応）が求められます。横浜市は２分程度（考える時間も含める）でその場で演じます。東京都は問答形式（昨年度）です。※作成次第担当講師の先生に送り、指導を受けてください。

（例）あなたが授業で教室に行った時、男子同士が取っ組み合いのけんかをしていました。その時どうしますか。指導の大まかな流れについて下記の例を参考に述べてください。けんかがすぐに収まらないことを前提とします。

※受講テキストP9、P10に問答形式の事例を掲載しています。ここではQ＆Aではありません。

〇　問答形式（考えられる指導の概略を述べてください）

やめるよう注意する。

やめない場合は中に入って止める。

それでもやめない場合は他の生徒に職員室に行かせ先生に来てもらうよう指示する。

けんかが収まらなかったら自習監督を他の先生にお願いして別室で指導する。

同時に学年主任（生活指導主任）に報告し主任の先生同席の上、暴力で解決しないよう指導する。

副校長、校長に報告する。

保護者を学校に呼び学年主任と校長先生同席の上、謝罪の場を設ける。

※すぐにけんかが収まったとしても保護者への報告は必要です。

〇　場面指導（模擬対応）２分程度の内容

A君B君、二人ともやめなさい。

C君、職員室に行って誰か先生を呼んできてください。

D先生、二人の指導をしますので、自習の監督をお願いします。

二人とも別室に来なさい。

E先生、教室でケンカがありました。申し訳ありませんが指導に同席して一緒に事情を聞いていただけますか。

けがはないですか。けんかの原因は何ですか。そうですか、それではお互いに原因があるのですね。気持ちは収まりましたか。この場で互いに手を出したことについて謝りましょう。ただ、保護者に学校に来てもらって事情を理解してもらいその場で今後けんかしないよう約束してもらいます。

校長先生、副校長先生、授業で教室に行ったときケガに発展するようなケンカがありました。放課後双方の保護者を呼んで謝罪の場を設けたいのですが。校長先生も同席していただけますか。

A君とB君のお母さん、来校していただきありがとうございます。実は報告したとおりけんかがあり双方に原因があることが分かりました。そこで事実関係をご理解いただき生徒同士謝罪し二度と同様のことを起こさないよう約束させたいと思います。

ではA君B君互いに謝って約束してください。A君B君のお母さん何かおっしゃりたいことはありますか。では最後に校長先生一言お願いします。

事例１　授業中私語をやめない生徒がいます。どう対応しますか。注意してもやめないことを前提とします。

〇問答形式（考えられる指導の概略を述べてください）

事例１　授業中私語をやめない生徒がいます。どう対応しますか。注意してもやめないことを前提とします。

〇場面指導（模擬対応）２分程度の内容

事例２　学校から帰ってきた息子の洋服の背中に靴の跡があった、息子に聞いても何も言ってくれない。

いじめを受けているのではないかと母親から電話がありました。どう対応しますか。

〇問答形式（考えられる指導の概略を述べてください）

事例２　学校から帰ってきた息子の洋服の背中に靴の跡があった、息子に聞いても何も言ってくれない。

いじめを受けているのではないかと母親から電話がありました。どう対応しますか。

〇場面指導（模擬対応）２分程度の内容

事例問題ではこの解決方法しかないとか、これが最善の方法であると、いったような正しい答えが必ずしもあるとは限りません。誰が見てもこの方法しかないと思えても、指導の仕方（乱暴な言葉遣いや、圧迫的な指導姿勢）で問題がこじれる場合があります。

　大切ことは問題に正面から向き合い児童・生徒の心情に寄り添い誠実に対応することが信頼となって円滑な解決となるケースが往々にしてあります。

　場面指導（模擬対応）で実演する場合はこうした誠実な指導を心掛けましょう。

個人面接では予期せぬ質問を受けた事例があります。

下記の項目について教育公務員としての行為が固く禁じられています。してはいけない行為（服務事故）について質問を受けた場合は２～３つ程度答えられるよう準備しましょう。

１ わいせつ行為及びセクシュアル・ハラスメント

２ 飲酒に関わる服務事故

３ 利害関係者との接触等（教科書会社等）

４ 体罰

５ 個人情報及び公文書等の適切な管理（USBの持ち出し紛失等）

６ インターネットやパーソナルコンピュータの適正な利用（学校内でインターネットによる不適切な画像閲覧、私的なメールによる個人情報の流出等）

７ 自家用車通勤及び交通事故

８ 兼業・兼職

９ 上司の職務命令及び法令等の遵守

10会計事故防止